国土交通省近畿地方整備局
Kinki Regional Development Bureau
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局
資　料　配　布

配布日時	平成２８年　１月２７日 １４：００

件　　名	**平成２７年度　重点「道の駅」の選定について** **～地方創生の核となる「道の駅」の優れた取組を応援します。～**

概　　要	「道の駅」は、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段であり、国土交通省では、平成２６年度より関係機関と連携して、地方創生の核となる特に優れた取組を選定し、重点的に応援する取組を実施しています。 平成２７年度は、地方創生に資する**地産地消の促進**及び**小さな拠点の形成**等を目指した「道の駅」の新たな設置またはリニューアル等に関する企画提案を募集し、この度、有識者のご意見を踏まえ、重点「道の駅」として全国で３８箇所選定され、**近畿地方整備局管内では８箇所選定**されましたのでお知らせします。 ※選定８箇所の詳細は別添の資料のとおりです。 その他の箇所については、国土交通省の記者発表資料をご覧ください。 http://www.mlit.go.jp/report/press/index.html

取 扱 い	―

配布場所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ 福井県政記者クラブ、滋賀県政記者クラブ、京都府政記者室 奈良県政記者クラブ

問合せ先	国土交通省　近畿地方整備局　道路部　交通対策課 交通対策課長　　東　隆司　（内線４５１１） 道路構造保全官　　西田 靖志　（内線４６１３） 電話：０６－６９４５－９１０７

平成27年度　重点「道の駅」選定箇所　位置図

平成27年度　重点「道の駅」選定箇所一覧

主な取組内容	都道府県	市町村	駅　名	主な特長
産業振興	滋賀県	長浜市	浅井三姉妹の郷（あざいさんしまいのさと）	起業や商品開発をサポートする「チャレンジショップ」の設置による地産地消型産業の振興。
	京都府	南山城村	（仮称）南山城村（みなみやましろむら）	「村で暮らし続けるための仕掛け作り」として、特産品である南山城茶を活用した商品開発。
	大阪府	河南町（かなんちょう）	かなん	なにわの伝統野菜を使った商品を開発・提供するための施設整備。
地域福祉	奈良県	葛城市	（仮称）かつらぎ	高齢者の交通手段確保のためのコミュニティ―バス運行、ICT を活用した買い物支援。
交通結節点	福井県	小浜市	若狭おばま	交通結節点機能強化（バスターミナル機能拡張、パーク＆ライド）による観光促進。
観光総合窓口	福井県	勝山市	（仮称）恐竜渓谷ジオパーク	県立恐竜博物館等を活かした観光・交流拠点。コミュニティーバスによる周遊観光。
	京都府	京丹後市	丹後王国「食のみやこ」	丹後地域の観光資源、地域食材等を紹介する観光等総合窓口。
交流・連携	滋賀県	竜王町	竜王かがみの里・アグリパーク竜王	土産土法の取組を2駅（集客力のある駅と農業生産力のある駅）連携で推進。

道の駅「浅井三姉妹の郷」　滋賀県長浜市

○起業や商品開発をサポートする「チャレンジショップ」を設置し、地域資源を生かした特産品の開発や販路の拡大により、地産地消型産業の振興を図る。
○小谷城スマートインターチェンジの開通を契機に、着地型観光の基地として交流人口の増加を目指す。

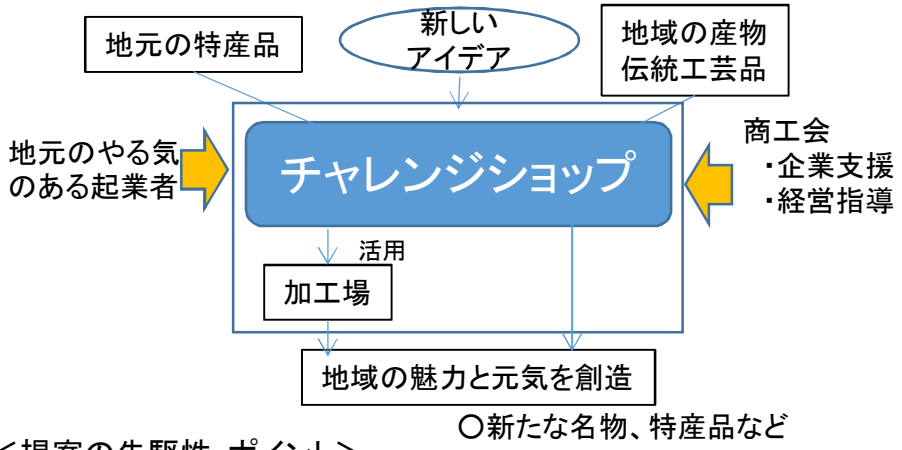
道の駅浅井三姉妹の郷

産業振興	観光総合窓口	連携・交流
地域活性化と雇用の創出	観光イノベーションの実現	周辺道の駅とのネットワーク

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
浅井三姉妹の郷	滋賀県	長浜市	国道365号	新設	平成28年	単独型

＜長浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略＞

本市に居住しながら勤務できる企業が十分立地していないことから、「しごと」と「人」の好循環を作り出し、持続可能な「まち」の活性化を図ることを目的に平成27年6月に制定。



○新たな名物、特産品など

＜提案の先駆性・ポイント＞

■やる気のある地域の起業者を支援し、新たな名物、特産品を生み出す。
■市の新たな玄関口として、地域の観光情報を発信し、周遊観光へ誘引し、滞在型観光への転換を図る。
■市内各道の駅とヒト・モノの交流を行い地域活性化を図る。

＜実施内容＞

○チャレンジショップを設置し、新たな起業者の育成や新商品開発を サポートし、地域活性化を促進。
○農産物加工室を設置し、特産品の開発による付加価値向上（6次産業化）の推進
○観光コンシェルジュを配置し、地域の歴史・文化・自然を体感する体験型観光を提供し、市内全域に観光客を誘導。

道の駅「南山城村（みなみやましろむら）」（仮称）　京都府南山城村

○「村で暮らし続けるための仕掛けづくり」として、特産品である“南山城茶”を活用した商品の開発－「産業再生」
○都市部と地元住民の交流拠点と位置付け、地域間交流を促進し、来訪者増加による定住・移住の促進－「次世代の担い手育成」
○コミュニティバスの運行、宅配サービス、安否確認等、高齢者生活支援の実践による地域福祉サービスの充実－「絆づくり」
○住民出資の設立会社を運営会社にし、「村に必要なことを村の人が取り組み、利益を享受する」地域内循環型産業システムを実現

運営スタッフの公募等による雇用機会の創出、情報発信

情報発信：
むらびぃと
http://mura-Kyoto.com/murabeat/
ミチノエキヘノミチ
https://www.facebook.com/michinoeki.minamiyamashiro/

「道の駅」開駅準備のため、臨時職員を公募により採用し、南山城村に移住し、特産品開発、情報発信などに取り組む

交流・連携	産業振興	地域福祉	防災
都市との地域間交流 情報ワンストップ	農林産物ブランド化 6次産業化・雇用創出	高齢者生活支援 コミュニティバス	後方支援拠点 バックアップ機能

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
南山城村	京都府	南山城村	国道163号	新設	平成28年度	一体型

南山城村のお茶を中心とした文化や自然環境の豊かさ等の魅力を隣接府県に情報発信し、都市との連携や交流を図り、定住を促進することで、産業再生や次世代の担い手を育成

地域資源を活かした体験・交流機会の提供

田舎暮らし体験
（炭焼き体験の様子）

地元の方とともに農作業体験を行う中で移住や田舎暮らし実現に必要な情報を提供

地域の特産品によるオリジナル商品の開発

府内第2位の生産量を誇る高品質なお茶

村のお茶を原材料とした新商品

南山城村の特産品であり、14年連続で農林水産大臣賞を受賞した高品質なお茶を活用したオリジナル商品の開発

＜提案の先駆性・ポイント＞

■道の駅整備を「村で暮らし続けるための仕掛け作り」と位置付け、茶業等の農業の衰退及び後継者不足、人口の減少・高齢化等の課題を解決するため、「産業再生」、「次世代の担い手育成」や「絆づくり」を担う拠点とする。

■「村に必要なことを村の人が取り組み、それによって村の人が利益を享受する」という地域内循環型産業システムを実現する拠点とし、住民出資の設立会社を運営会社とする。

■災害時の避難所、災害復旧の活動拠点、支援物資の集積拠点とする。

＜実施内容＞

○「持続可能な農業」を実現するため、特産品である“南山城茶”を中心とした農林産物のブランド化とオリジナル商品を開発、即売
○南山城村のお茶を中心とした文化、生活等を情報発信する施設、お茶の飲み方等を提案する施設での都市住民との地域間交流
○コミュニティバス、住民票等の自動交付サービス、コンビニ交付サービス、宅配サービス、役場と連携した安否確認等の高齢者生活支援
○NPO法人等の活動拠点等に活用できるサテライト・オフィスの整備
○災害時後方支援拠点に利用する広場・防災倉庫・耐震性貯水槽の整備

道の駅「かなん」　　大阪府南河内郡河南町（かなんちょう）

〇なにわの伝統野菜などの地場産野菜を商品開発（６次産業化）して提供する施設の整備や直売所リニューアルにより、地方創生の拠点として、町の特産品を全面的にアピールし、地産地消の促進と雇用の創出
〇情報発信拠点を整備し、町の観光情報や交通情報を総合的に発信
〇災害時避難所に指定されていることから、防災倉庫や災害時に一時避難が可能な広場の整備

産業振興	交流・連携	観光総合窓口	防災
特産品のアピール、地域農業の拠点	加工体験や産学連携での商品開発による地域活性化	観光振興拠点	災害時避難所の備蓄機能

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
かなん	大阪府	河南町	国道309号	既設	平成16年度	一体型

従来の道の駅かなんの取組

来場者数増加へ

直売所

地域農業の拠点として屋内にリニューアル

規模・設備の充実

駐車場・トイレ

駐車場規模の拡大・トイレなど設備の充実

＋

新規コンテンツによる魅力づくりで周囲と差別化を図る取組

スイーツ工房

特産品の果物を活用したスイーツの商品開発・加工体験

作付面積大阪府1位の“なにわの伝統野菜”を活用した商品開発

カフェ・デリ

今朝どりの地場産野菜をふんだんに使用した料理を提供

インフォメーションセンター

町の総合的な観光・交通情報などを発信

＜提案の先駆性・ポイント＞

■特産品(いちじくやなにわの伝統野菜)を前面に押し出した商品を開発し、加工体験や産学連携など交流の手段とすることで、地方創生に資する地域のアピールと活性化を推進する。

■地場産のこだわり野菜をおいしく食べてもらうために今朝どり野菜をふんだんに使用した料理を味わってもらう場を設置し、地産地消を促進する。

■観光情報提供や自転車のレンタルにより総合的に観光案内を行う。

＜実施内容＞

〇産学連携により特産品をオリジナルスイーツ等に商品開発【産業振興】
〇上記を購入・加工体験できる「スイーツ工房」や今朝どり野菜を食べることができる「カフェ・デリ」を整備【産業振興、交流・連携】
〇観光案内を行う「インフォメーションセンター」設置【観光総合窓口】
〇防災倉庫や災害時に使用できる広場の整備【防災】
〇規模拡大に合わせた駐車場やトイレの充実

道の駅「（仮称）かつらぎ」　奈良県葛城市

○高齢者等の交通手段確保のための市内各所を循環するコミュニティーバスの運行、ICTを活用した買い物支援による地域福祉の向上
○菊芋等の地元産品を活用した新たな商品開発による地産地消の促進、チャレンジショップによる企業支援と雇用創出
○「相撲発祥の地」のPRや當麻寺などの地域資源を活かした観光振興でインバウンド観光を推進し、地域を活性化

観光総合窓口・インバウンド観光	産業振興	産業振興	交通結節点	地域福祉
相撲観光創造による観光振興とインバウンド観光の促進	チャレンジショップによる新たな起業と雇用の創出	新規就農者支援による農業振興	道の駅をハブとするコミュニティーバスの運行	ICT（情報通信技術）を活用した買い物支援

【道の駅施設配置図】

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
「かつらぎ」（仮称）	奈良県	葛城市	国道166号 市道南阪奈側道1号線	新設	平成28年度	単独型

【地域振興棟イメージ】

【H28.2中旬運行予定のコミュニティーバス】

【相撲観光振興と英語版パンフレット】

【大和かつらぎ就農塾】

【ICT買い物支援のイメージ】

【菊芋コロッケと地元の地域活性化推進グループ】

＜提案の先駆性・ポイント＞

■道の駅を活かし、起業や新たな農産加工品の販売を支援します。
■既存施設の相撲館と連携し、新たな観光客を呼び込むことで観光振興を図り、インバウンド観光を促進します。
■ワンコインで市内を循環できるコミュニティーバスを利用し、市内各拠点へのアクセスが可能になります。
■ICTを活用した買い物支援により、市内の買い物弱者支援を行います。

＜実施内容＞

○活力ある市民の起業機会を提供するチャレンジショップの設置
○直売所による農産品の新たな販売チャンネルの創出
○相撲観光創造による観光振興とインバウンド観光の推進
○コミュニティーバス乗り入れによる市内拠点へのアクセス確保
○ICT（情報通信技術）を活用した買い物支援システムの導入
○加工所を活用した農産品の6次産業化の推進

道の駅「若狭(わかさ)おばま」　福井県小浜市

○SA空白区間の中間に位置する小浜ICに隣接した立地を活かした交通結節点機能を強化（ﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙ機能拡張、ﾊﾟｰｸ＆ﾗｲﾄﾞ）し、旅行会社と連携した新たなツアーの創出
○道の駅を拠点に、観光コンシェルジュが同乗した循環バスによる「海の駅」、「まちの駅」との3駅連携による賑わいの創出
○特産品である鯖等を活用したさば玉等の新商品の開発や郷土料理（へしこ、鯖のなれずし等）教室による地産地消の促進
○既存の観光ルートの情報を道の駅に集約化し、嶺南地域や隣接する滋賀県、京都府も含めた広域総合案内機能を付加

「海の駅」：若狭塗の箸砥ぎ体験等ができる食文化館の建物を中心にした施設
「まちの駅」：重要伝統的建造物群保存地区に隣接した明治時代の芝居小屋
※隣接して平成27年4月に日本遺産第1号に認定された「鯖街道」の起点が存在

※既存の観光ルート
丹波・若狭街道（綾部市～おおい町～小浜市）
鯖街道（小浜市～若狭町～高島市）

観光総合窓口	交流・連携	インバウンド観光	交通結節点
3駅が連携したSSA	御食国、歴史を活かした交流	京都・大阪から近くにもう一歩	ターミナル機能の拡張

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
若狭おばま	福井県	小浜市	主要地方道 小浜上中線	既設	平成22年度	一体型

＜提案の先駆性・ポイント＞

■小浜ICに隣接している特性を活かし、小浜市のゲートウェイとして「海の駅」、「まちの駅」を合わせた3駅が連携することにより、市内全体をスローサービスエリアとして質の高いサービスを提供する。

■整備された道路（社会資本ストック）の効果を加速させる拠点の整備

■二次交通の充実を図り、ﾊﾟｰｸ＆ﾗｲﾄﾞ機能を備えた交通結節点の構築

＜実施内容＞

○道の駅にターミナル機能（暫定）を拡張。
○3駅を巡る循環バスの運行、コミュニティーバスの既存路線を一部変更した観光スポットへの誘客。
○既存の高速バスによる外国人観光客に対応する外国人観光案内レベルの向上（現在：パートナー施設）
○将来の舞若道を通過する高速バス増とターミナル機能（完成）を拡張。

道の駅「恐竜渓谷（きょうりゅうけいこく）ジオパーク（仮称）」　福井県勝山市

○世界三大恐竜博物館の一つである福井県立恐竜博物館や西日本最大級のスケールを誇るスキージャム勝山の集客力（年間約100万人）を活かした観光・交流拠点の整備
○鮎などの川魚や里芋などを地域ブランド化し、新たな特産品（「かつやま逸品」）を開発・販売することで地産地消を促進
○市内10地区をそれぞれの特色を活かしたジオパーク（まちまるごとジオパーク）とし、コミュニティバスによる周遊ツアーを実施することで都市住民との交流を促進

観光総合案内 県内観光コンシェルジュ	産業振興 地域資源の有効活用	交流・連携 行政サテライト機能

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
恐竜渓谷ジオパーク(仮称)	福井県	勝山市	県道勝山インター線 主要地方道勝山丸岡線	新設	平成32年度	一体型

＜提案の先駆性・ポイント＞

■勝山市の玄関口に道の駅を整備し、恐竜博物館などの集客力を活かして情報発信を行うことで、市内の観光地等へ誘客
■恐竜や鮎などの地域資源をブランド化し、新たな特産品を開発（6次産業化）
■「観光まちづくり会社」の設立により新たな雇用を創出し、人材を育成
■訪問者の8割が自家用車利用であり、道の駅に交通結節点機能を付加することで効果的に市内に誘客するとともに、高齢者等の交通弱者の利便性を向上
■都市住民を呼び込むツーリズム事業を展開し、都市との交流を促進し、交流人口を拡大し、定住を促進

＜実施内容＞

■観光コンシェルジュを配置した総合観光窓口の設置
■多言語案内、無料公衆無線LAN等のインバウンド対応
■地域資源や地元産品を活用した特産品の開発と商品の提供による地産地消の促進
■パークアンドライド機能、コミュニティバスの運行
■田舎暮らし体験、伝統的漁法体験の提供
■空き家情報、就労情報の提供
■「観光まちづくり会社」の設立による雇用の創出
■行政サテライト機能（移住定住情報の提供、ふるさと納税相談窓口等）の構築

道の駅「丹後王国「食のみやこ」」　京都府京丹後市

〇農林漁業者に地域食材を生かした6次産業化研修や旅館従業員等にサービス・料理技術研修を実施し人材を育成
〇丹後地域の観光資源・地域食材等を紹介する観光等総合窓口となり、国内外の観光客を率先して誘客
〇地元高校生による地元食材を使ったメニューの開発、駅内のレストラン等で地元食材の活用により地産地消を促進

産業振興	観光総合窓口	地方移住等促進	交流連携
人材育成と地域商社化	丹後地域のゲートウエイ	劇団運営で移住促進	地元道の駅等との連携

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
丹後王国「食のみやこ」	京都府	京都府	府道53号	既設	平成15年	単独型

劇団旗揚げによる
地元PRと移住促進

丹後への観光客数
538万人（H26）→目標；660万人

＜提案の先駆性・ポイント＞

■丹後地域の中心「道の駅」として、丹後地域の着地型観光や移住情報等総合案内、農林水産物やそれを使った加工品を販売（地域商社機能）
■地域の農林漁業者や観光従事者等の「食」に関わる人材を育成
■地域の道の駅、鉄道、農家民宿、観光果樹園等と連携した観光誘客
■劇団設立による雇用の創出と移住支援、丹後地域の観光等PR

＜実施内容＞

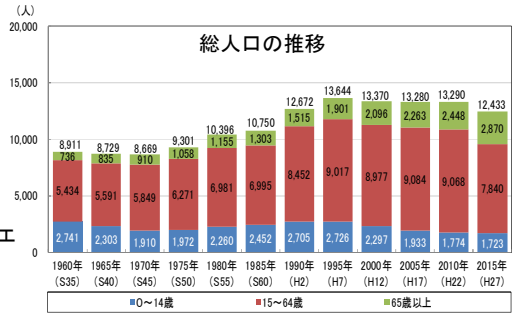
〇JNTO外国人案内所登録および総合案内スタッフの配置、外国発行クレジットカード利用端末の整備、Wi-Fi整備（丹後観光総合窓口化）
〇「食」に関わる人材育成のための調理・加工施設整備
〇鳥取豊岡宮津自動車道の延長や来園者増加にともなうサブゲート側のトイレ・駐車場整備

道の駅「竜王かがみの里」、道の駅「アグリパーク竜王」　滋賀県竜王町

○集客力のある竜王かがみの里と農業生産力のあるアグリパーク竜王を連携させて、効率的な土産土法（※土地のものを土地ならではの料理法でもてなすこと。竜王町ではまちづくりの手法にも取り入れ）の推進
○農業の担い手（定年退職者等）の育成、農住（空き家対策）の窓口の設置

産業振興	地域福祉（健康）	地方移住等促進	交流・連携
果樹・園芸生産団地を活かす農業振興	野菜ソムリエによる健康づくり	新規就農者への空き家斡旋	町内企業との地域内連携

笑顔で接客する野菜ソムリエ



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
①竜王かがみの里 ②アグリパーク竜王	滋賀県	竜王町	①国道8号 ②国道477号	①、②とも既設	①平成15年 ②平成27年	①一体型 ②単独型

梨狩り体験を楽しむ家族

果樹・園芸団地と近接する工場

お試し販売を行う直売所

アグリパーク竜王を囲む畑地

竜王かがみの里、アグリパーク竜王の位置図

＜提案の先駆性・ポイント＞

■野菜ソムリエを中心とした商品開発と町民の健康づくり
■消費者ニーズを生産販売に結びつける2駅の連携と生産体制の構築（野菜ソムリエ・就農コーディネーター、生産団地・生産組合等）
■農産物のお試し販売までチャレンジできる農業体験
■町内企業の定年退職者等をターゲットにした農業の担い手育成

＜実施内容＞

○野菜ソムリエを活用した特産品の開発（ブランド化）
○町民の健康づくり『1日350g野菜摂取運動』の実践
○アグリパーク竜王の体験農園で収穫した農産物の試験販売
○町内企業等の定年退職者等への体験農園提供
○ブランド農産物の量産、新たな野菜栽培の開発（特産品化）
○新規就農者への農地および住宅の紹介（農住支援）

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

平成28年1月27日

道　　路　　局

平成27年度 重点「道の駅」の選定について

～地方創生の核となる「道の駅」の優れた取組を応援します。～

「道の駅」は、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段であり、国土交通省では、平成２６年度より関係機関と連携して、地方創生の核となる特に優れた取組を選定し、重点的に応援する取組を実施しています。

平成２７年度は、地方創生に資する地産地消の促進及び小さな拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置又はリニューアル等に関する企画提案を募集し、この度、有識者のご意見を踏まえ、重点「道の駅」として３８箇所選定しましたので、お知らせします。

［問い合わせ先］
国土交通省　道路局
企画課　　企画専門官　井坪 慎二　【代表】：03-5253-8111（内線 37552）
【直通】：03-5253-8485　FAX：03-5253-1618
国道・防災課 課長補佐 竹内 勇喜　【代表】：03-5253-8111（内線 37842）
【直通】：03-5253-8492　FAX：03-5253-1620

平成２７年度 重点「道の駅」の概要

＜主な取組内容＞

①産業振興 　地域の特産品を活かした産業振興「道の駅」
②地域福祉 　地域の高齢化等に対応した住民サービス（地域福祉）を提供する「道の駅」
③交通結節点 　公共交通の結節点として地域住民に交通サービスを提供する「道の駅」
④防災 　災害時に高度な防災機能を発揮する「道の駅」
⑤観光総合窓口 　地域の観光総合窓口となる「道の駅」
⑥インバウンド観光 　インバウンド観光を促進する「道の駅」
⑦地方移住等促進 　地方移住・ふるさと納税推進に貢献する「道の駅」
⑧交流・連携 　地域間の交流・連携を促進する「道の駅」
※上記取組を実践する方法として 「道の駅」相互のネットワーク化により効果を発揮する「道の駅」

＜支援内容＞

○自治体・関係機関による協議会等を設け、複数の関係機関の制度の活用等について、ワンストップで相談できる体制を作ります。

○道路区域内の駐車場、休憩施設、トイレ、道路情報提供施設等は、直轄道路事業及び社会資本総合交付金等を活用して国土交通省が支援します。

○重点「道の駅」の取組を広く周知します。

＜選定の流れ＞

「道の駅」有識者懇談会
（選定方針に関する意見）

↓

企画提案募集

↓

「道の駅」有識者懇談会
（評価及び選定に関する意見）

↓

重点「道の駅」選定結果公表

「道の駅」有識者懇談会

委員長：石田 東生〔筑波大学 システム情報系社会工学域　教授〕

楓　千里〔（株）ＪＴＢパブリッシング 取締役　ノジュール事業担当〕

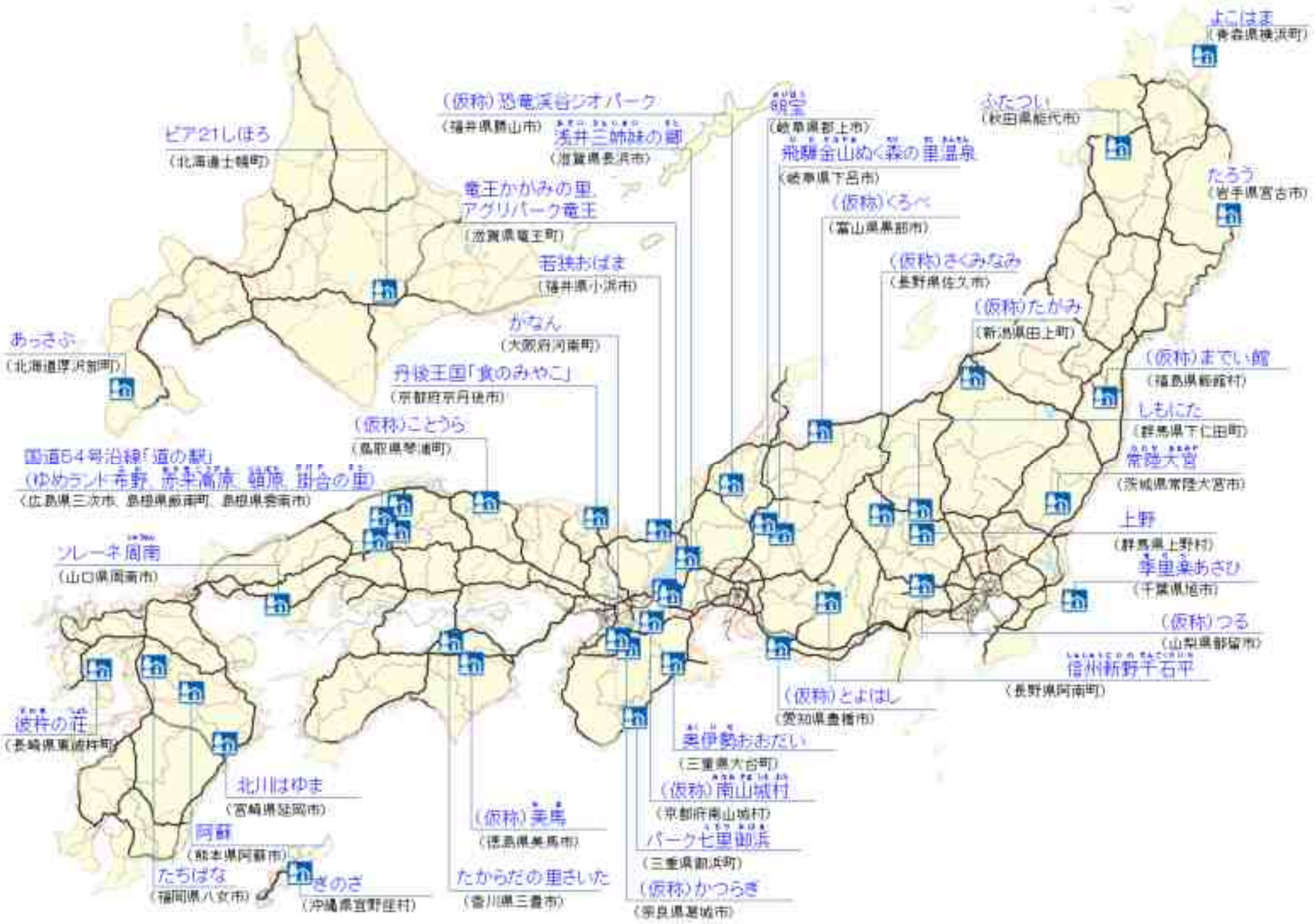
篠原　靖〔跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部　准教授〕

根岸 裕孝〔宮崎大学 教育文化学部　准教授〕

山田 知子〔比治山大学 現代文化学部　教授〕

（敬称略・五十音順）

重点「道の駅」選定　38箇所



重点「道の駅」　全 38 箇所

主な取組内容	都道府県	市町村	駅　名	主な特長
産業振興	岩手県	宮古市	たろう	水産物の直売や 6 次産業化による漁業復興・再生の拠点。
	茨城県	常陸大宮市	常陸大宮（ひたちおおみや）	全国でも生産量の少ない洋野菜の地産地消及びブランド化の推進。
	山梨県	都留市	（仮称）つる	地域伝統野菜の加工品開発による6次産業化。
	千葉県	旭市	季楽里（きらり）あさひ	基幹病院等と連携し「医食農同源」をテーマに、豊富な地元農水産物を活用した地産地消の推進。
	長野県	佐久市	（仮称）さくみなみ	健康長寿をテーマに、健康長寿野菜や健康長寿食の提供による地産地消の推進。
	富山県	黒部市	（仮称）くろべ	豊かな農産物と希少な海産物を活用した6次産業化の拠点。
	三重県	御浜町（みはまちょう）	パーク七里御浜（しちりみはま）	柑橘加工商品の開発と6次産業化の推進。
	滋賀県	長浜市	浅井三姉妹の郷（あざいさんしまいのさと）	起業や商品開発をサポートする「チャレンジショップ」の設置による地産地消型産業の振興。
	京都府	南山城村	（仮称）南山城村（みなみやましろむら）	「村で暮らし続けるための仕掛け作り」として、特産品である南山城茶を活用した商品開発。
	大阪府	河南町（かなんちょう）	かなん	なにわの伝統野菜を使った商品を開発・提供するための施設整備。
	鳥取県	琴浦町	（仮称）ことうら	隣接する既存の道の駅との機能分担及び連携し、地元特産品を活用した6次産業化など地産地消の推進。
	徳島県	美馬市（みまし）	（仮称）美馬（みま）	地元農林水産物の集出荷システムを活用した産地直売所の設置や地域野菜を活用した6次産業化推進。
	沖縄	宜野座村（ぎのざそん）	ぎのざ	宜野座エコ農産物や人材資源等を活用し「食育・地産地消活動」の促進。
地域福祉	青森県	横浜町	よこはま	周辺施設を活用した、地方創生拠点を形成する自動車専用道路IC直結の道の駅。
	福島県	飯舘村（いいたてむら）	（仮称）までい館	原発災害からの帰村時の日常生活を支える、役場や医療機関等と連携した復興拠点。
	群馬県	下仁田町	しもにた	買い物困難者への宅配サービス提供、子育てサポート、公共交通バスの結節点化などによる「小さな拠点」の形成。
	新潟県	田上町	（仮称）たがみ	道の駅周辺に公共サービスと生活サービス機能を集約。道の駅と集落地域等を結ぶ公共交通・宅配サービスの導入。
	長野県	阿南町（あなんちょう）	信州新野千石平（しんしゅうにいのせんごくだいら）	高齢者への宅配サービスを通じた買物支援や安否確認、町民バスと連携した中山間地の生活支援。
	岐阜県	郡上市（ぐじょうし）	明宝（めいほう）	NPO と連携した日用品の配達及び生活支援サービスによる高齢者支援。
	岐阜県	下呂市（げろし）	飛騨金山ぬく森の里温泉（ひだかなやまもりのさとおんせん）	病院・老人福祉施設等の地域福祉機能等の集約、コミュニティバスや高齢者宅配サービス等による小さな拠点機能の向上。
	奈良県	葛城市	（仮称）かつらぎ	高齢者の交通手段確保のためのコミュニティ―バス運行、ICT を活用した買い物支援。
	山口県	周南市（しゅうなんし）	ソレーネ周南（しゅうなん）	高齢者の相談窓口の設置、バス停の整備による、地域住民のサポート体制の構築。
	福岡県	八女市（やめし）	たちばな	地域福祉の向上と地域住民の安全安心な地域コニュニティ再生による行政サテライト機能の充実
	長崎県	東彼杵町（ひがしそのぎちょう）	彼杵の荘（そのぎのしょう）	障害者支援施設が行う移動販売車による買物支援と農産物の集荷・販売システムの確立。

主な取組内容	都道府県	市町村	駅　名	主な特長
交通結節点	北海道	士幌町（しほろちょう）	ピア21しほろ	長距離バス、路線バス、地域コミュニティーバスの結節点として機能。
	福井県	小浜市	若狭おばま	交通結節点機能強化（バスターミナル機能拡張、パーク＆ライド）による観光促進。
	三重県	大台町（おおだいちょう）	奥伊勢（おくいせ）おおだい	JR、高速バス、路線バスの結節点における行政、文化、、観光、医療サービス拠点の形成。
	宮崎県	延岡市	北川はゆま	コミュニティバスの乗入れや高速バスストップの設置、パーク＆ライド機能を備えた乗継拠点。
防災	愛知県	豊橋市（とよはしし）	（仮称）とよはし	南海トラフ地震等に備えた防災活動拠点。
観光総合窓口	福井県	勝山市	（仮称）恐竜渓谷ジオパーク	県立恐竜博物館等を活かした観光・交流拠点。コミュニティーバスによる周遊観光。
	京都府	京丹後市	丹後王国食のみやこ	丹後地域の観光資源、地域食材等を紹介する観光等総合窓口。
インバウンド観光	秋田県	能代市	ふたつい	世界遺産「白神山地」の玄関口として、多言語化に対応したインバウンド観光案内所（スタッフ・ガイド）を配置。
地方移住等促進	北海道	厚沢部町（あっさぶちょう）	あっさぶ	日本版 CCRC との連携により高齢者移住や、新規就農による移住・定住促進に向けた情報発信や総合案内。
	群馬県	上野村	上野	移住窓口を設置するなど道の駅を中心に移住・雇用対策を展開。
	香川県	三豊市（みとよし）	たからだの里さいた	道の駅の観光ポテンシャルを活かした移住促進（移住コンシェルジュによる相談窓口設置、移住体験ツアー開催等）。
	熊本県	阿蘇市	阿蘇	消防署、医療センター等と連携した「小さな拠点」の形成。空き家バンク制度を活用し、移住定住等を促進。
交流・連携	滋賀県	竜王町	竜王かがみの里・アグリパーク竜王	土産土法の取組を2駅（集客力のある駅と農業生産力のある駅）連携で推進。
	広島県 島根県	三次市（みよしし） 雲南市（うんなんし）、飯南町（いいなんちょう）	国道54号沿線「道の駅」	自動車道の開通により交通量が減少した国道 54 号沿線の 4 つの道の駅の相互連携による、地域の暮らしを持続的支える環境構築。